

ロータリー財団 地区補助金事業報告

広島東南ロータリークラブ(G-7)

- (財)日本ダウン症協会広島支部「えんぜるふいっしゅ」へ、自立支援および就労支援用にパソコン、プロジェクター、プリンターを贈呈する。

- 贈呈式
 - 日 時：2012年10月7日(月)午後2時より
 - 場 所：広島県立広島大学広島キャンパス紫苑祭

プロジェクト概要

「えんぜるふいっしゅ」はダウン症協会広島支部として1990年に発足して以来、ダウン症児のみならず知的障がい児の療育や自立を支援する活動を行っている団体です。

22周年を迎えた同会は、現在200家族の正会員と120名の賛助会員に拡大しています。障がい児の年齢・成長に応じた部会や定例会の地域活動がメインですが、人との付き合いや社会への関わり方を会得する「ソーシャルスキルアップ」のため、奉仕活動や職場体験学習を通じて相互理解を深め、就労機会の拡大を目指しています。

本年度の当クラブのロータリー財団地区補助金プロジェクトは、この「えんぜるふいっしゅ」の活動支援のため、パソコン・プロジェクター・プリンターを寄贈する事としました。贈呈した物品は会員のスキルアップ・地域活動に役立つものであり、さらに自立・就労支援の輪が大きくなっていくものと期待しています。

贈呈式は爽やかな秋晴れの10月7日(日)、学園祭で賑やかな県立広島大学宇品キャンパスにて行われました。

広島東南ロータリークラブ様
より
ご寄付いただきました

パソコン プリンター
プロジェクター スクリーン



厚く御礼申し上げます
日本ダウン症協会広島支部 えんぜるふいっしゅ一岡

「えんぜるふいっしゅ」のメンバーがジョブサポーターの学生さん達の補助の元、出店された喫茶コーナーが会場となりました。

当クラブからは温泉川梅代会長を始めとする7名が出席、「えんぜるふいっしゅ」からは日野扶美子会長の他、保護者、本人会員、ジョブサポーター併せて35名のご出席があり、賑やかで和やかな雰囲気の中、温泉川会長のご挨拶、目録贈呈、謝辞、記念撮影とスムーズに進められました。

温泉川会長はご挨拶の途中、感極まって言葉に詰まる場面もありましたが、大勢のダウン症の子供達を前にしての想いは出席者皆同じではなかったかと思えます。これからの同会の活動へのさらなる支援が期待されています。



「えんぜるふいっしゅ」の皆さんと記念撮影



温泉川会長より目録贈呈



職場体験学習のパネル展開催